

令和7年度第1回富山県総合教育会議 議事録

1 日 時 令和7年5月23日（金）15:30～17:00

2 場 所 県庁4階大会議室

3 出席者 富山県知事 新田 八朗
富山県教育委員会
教育長 廣島 伸一
委 員 坪池 宏
委 員 大西 ゆかり
委 員 黒田 卓
委 員 牧田 和樹
委 員 松岡 理

講演者 白井 俊

（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官）

4 事務局出席者	経営管理部長	田中 雅敏
	経営管理部次長	矢野 康彦
	理事・教育次長	小杉 健
	教育次長・教育みらい室長	中崎 健志
	教育次長	板倉 由美子
	学術振興課長	水上 優
	教育企画課長	森安 祐成
	他関係課職員数名	

5 議 事

次期「富山県教育大綱」の策定について

6 会議の要旨

司会が開会を宣し、新田知事の挨拶後、富山県総合教育会議運営要領第3条並びに知事の指名に基づき、以後の議事については田中経営管理部長が進行した。

講演「教育をめぐる主な論点について」

（田中経営管理部長）

・まず、教育をめぐる主な論点について、白井俊内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官よりご講演いただく。

〔 白井俊内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官が、教育をめぐる主な論点について講演し、その後に内容について委員が質疑を行った。 〕

次期「富山県教育大綱」の策定について

（田中経営管理部長）

- ・事務局から、次期「富山県教育大綱」の策定について説明する。

〔 水上学術振興課長が、資料1「次期「富山県教育大綱」の策定について」を、森安教育企画課長が資料2「検討に当たってのポイント」、資料3「次期教育大綱における「基本理念（目指す姿）」について」を説明した。 〕

（田中経営管理部長）

- ・委員の皆様からご意見いただきたい。

○委員からの意見

（牧田委員）

検討にあたってのポイントとは、「こういったことを検討したほうがいい」ということであり、説明の内容についてはその通りだと思う。

前回もどこかで言ったような気がするが、人間の成長について、生まれてから死ぬまでほぼ教育が関わっている。それを大綱のようなものにまとめようとする、小学生はこうだとか中学生はこうだというように横に切りがち。文部科学省もそういったことで組織割りをしているが、なるべく人の一生を貫くような、文部科学省が横に切っているとすれば、縦にものを切っていくようなまとめ方もありではないかと思っている。

例えばグローバルに活躍する人というような、1つのカテゴリを作ったとすると、幼児教育からどういう教育をしていくのがより良いのか。そういうことは多分示すことができると思う。

今までは、それぞれ小学校、中学校でのより良い教育とは何なのかという話をしてきたのだと思うが、そうではなく、せっかく新しい大綱を作るのだから、目指す姿として人生を貫くような、学校間をシームレスにつなぐような切り口でまとめるのもありなのではないか。ぜひそうして欲しいと思う。

（大西委員）

今、牧田委員が言われたことを私も思っていた。牧田委員は「人の一生を貫くような」という言葉を使って説明されたが、私の中では、人の一生が時間とともに流れていくとすれば、この大綱は本当に理念だから、視座を高くして見渡すことができるような部分を持たせたら良いのではないかと思っている。

時間だけではなく、場所についても同様で、各市町村でも、基本計画や教育大綱が決められていると思うが、これと、県が策定する今回の大綱との関係性、県ではこういった基本理念、目指す姿を持っているということは、各市町村にもベースの部分として共有できたらよいのではないかと感じた。

(黒田委員)

進め方等に関しては今ご提案いただいたところで良いと思っている。

現行の大綱を作られたときも難しかったと思うが、これから5年後を想定するのは非常に難しい。世の中がどのようなになっているのかを考えたときに、現行の第2期大綱の基本理念から、どういった部分を変えていかないといけないのか。

その当時、例えば「人間力」というのは非常によく使われており、また、「社会人基礎力」など「～力」という言葉が出てきた時だと思うが、現時点では少し下火になってきていると感じている。人間力という言葉が悪いということではないし、今でも使われているのはわかってはいるが、言葉選びなども非常に慎重にしないといけないと感じた。

(廣島教育長)

事務局を預かる立場として一言述べさせていただくと、今、県で総合計画を作っているが、黒田委員が言われた5年後の姿という話になると、総合計画と並びを一にするということを踏まえて、教育大綱を考えていかななくてはならないのではないかな。

ご指摘いただいたワードなどのチョイス、そして、牧田委員が言われた見る角度というところも考慮しながらと思っているが、それもやはり縦もあれば横もある。両方あって網羅できるものになるのかなという気もするので、そういった両方の要素という観点で考えてみて、どういう表現がいいかということも私どもが検討すべきことではないかと感じた。そのように事務は進めさせていただければと思う。

(田中経営管理部長)

今回の協議内容を踏まえ、知事からご発言をいただきたいと思います。

(新田知事)

今日はまず白井さんから、教育をめぐる主な論点について、国際的なことも大変ご存じなのだが、特にフィンランドとシンガポールについてお話をいただいた。

その中でフィンランドは、過去は良かったけれども、今はちょっと右肩下がりでありだよね、シンガポールはトップでありながらさらに上がり続けているという話題があった。

それを聞いて、我々が目指すのはどちらなのか、そのようなことも参考にしながら今後この議論も進めていく。

確認だが、教育大綱と教育振興基本計画を一体的なものとして策定することは、昨年来の合意ということでお願いします。

そして、今年1月から新しい総合計画を作り始めている。これは今、教育大綱の議論と並行して進めている。

冒頭にも言ったが新時代とやまハイスクール構想の基本方針として県立高校に

ついてどのように教育を進めていくかを考えていくわけだが、これと整合性が無いといけないと思う。

総合計画、それから新時代とやまハイスクール構想。これらはいずれも現在協議を進めているわけであり、それを横目でにらみつつ、参酌しながら教育大綱の議論も進めていくことを、今日の皆さんの合意ということでお願いしたい。

(田中経営管理部長)

ただ今の知事のご発言にもありましたが、事務局においては次回会議に向けて、具体的な準備を進めていただきますようお願いします。

以上で本日の議事を終了する。

この後、事務局より、閉会の挨拶を行った。

以上